



碧南ロータリークラブ週報

第2706回例会 平成26年10月8日(水)

- 会長 石橋 嘉彦
- 幹事 伊藤 正幸
- 会場監督(SAA) 清澤 聡之

2014-2015 年度 国際ロータリーのテーマ

- 例会日 毎週水曜日 12:30
- 例会場 碧南商工会議所ホール
- 事務局 碧南商工会議所内 〒447-8501 愛知県碧南市源氏神明町 90
- TEL<0566>41-1100 FAX<0566>48-1100
- ホームページ: <http://www.hekinan-rc.jp>
- E-mail: info@hekinan-rc.jp

- 会報委員 奥津順司・藤関孝典・岡本彰人



●齊 唱

ロータリーソング「我等の生業」

●本日のメニュー

和風弁当 大正館

●本日のお客様

語りべ ふみの会 代表 田中ふみえ様、アシスタント 中村かつら様
西尾RC 岩崎智一君

会 長 挨 拶

台風18号も早々と去っていきました。大きな台風と聞いていたので、去ってよかったと思っております。

55年前の9月26日でございますが、この地方を襲いました伊勢湾台風の翌日に碧南ロータリークラブのチャーター伝達式があったわけでございますが、その事について初代会長の平岩さんは、「ロータリークラブ設立の意味を肝胆に命じ、災害の復興をする決意を新たにした」と言っておられます。碧南ロータリークラブも台風の後という厳しい中、誕生致しました。

また、大型の台風19号も近づいておりますので、これも心配でございます。警戒をお願いしたいと思います。

地震や台風などの自然災害には無力な我々ではありますが、自然が醸し出す風情も一興かなと考えております。今夜は皆既月食でございます。これも風情だと感じております。

先週の理事会におきまして、碧南ロータリークラブ細則第1条第1節に基づきまして、次年度の役員、理事を指名するための指名委員を選任させて頂きました。承認を得ましたので、そのご報告をさせていただきます。鈴木並生さん、奥田雪雄さん、黒田昌司さん、長田豊治さん、



石橋嘉彦会長

山中寛紀さん、石橋嘉彦、伊藤正幸さんの7名でございます。幹事報告書にもございますが、よろしくお願い申し上げます。

幹 事 報 告

本日は5点ほどご報告させていただきます。

- ・ 他クラブの例会変更などはございません。
- ・ 東海東京証券の吉武君より退会届けが提出されました。10月1日付けにて岐阜支店に転勤されました。
- ・ 先週開催の第4回理事会のご報告でございます。年末家族会、チャリティーバザー、入会候補者につきましてはご承認を頂きました。入会候補者は、東海東京証券の吉武君の後任となります。メールボックスにてご案内させて頂いております。吉武君の退会に伴いまして、クラブ広報委員の人数が2名となります。親睦活動委員会の岡本彰人君の所属変更の承認可決がありました。次年度の役員、理事の指名委員につきましては、会長よりご報告させて頂いた通りです。第1回指名委員会を再来週の22日例会終了後に開催致します。指名委員の皆様は、ご予定頂きますよう、よろしくお願い致します。
- ・ 地区東日本大震災プロジェクト委員会と、名古屋栄RCより公開例会の案内が届いております。「3.11 あの日を忘れない」と銘うっての補助金事業との事です。詳細はメールボックスにてご案内させて頂きましたが、参加ご希望の方は事務局までお申し出下さい。
- ・ 今週で最後になりますが、WFFのチケットお申込書の最終案内でございます。記入されます方、購入枚数をお増やし頂けます方はどうぞご記入下さい。



伊藤正幸幹事

委 員 会 報 告

<出席奨励委員会>

総会員数 68 名 (内出席免除者 17 名の内出席者 10 名)出席者 53 名	
出席対象者 53/61 名	出席率 86.89%
欠席者 15 名(病欠者 0 名)	前々回修正出席率 100%

※三週連続出席率 100%の場合は記念品を差し上げます。

<ニコボックス委員会>

- 伊藤 正幸君 ノーベル物理学賞のニュースには、日本人として誇らしく、うれしく思いました。
- 長田 豊治君 田中ふみえ様、中村かつら様の卓話を心より感謝いたします。
- 奥田 雪雄君 本日の講師、田中ふみえ様、御歓迎申し上げます。きたる11月、びしゃもんさんの日、たなを村まつりに於いて、かたりべとして御招待申し上げます。よろしくお願い致します。棚尾地区まちづくり委員長。

黒田 泰弘君
岡本 耕也君

本日の卓話の講師、田中ふみえさんをご紹介します。
しばらくメイクアップばかりで報告が遅れましたが、9月のゴルフ部会でグロス71で優勝させて頂きました。この調子で今年はクラチャンもいけるかも？と思ったのですが、大学生と中学生に敗けて3位でした。

卓 話

「語りべが伝える日本の心」

語りべ ふみの会 代表 田中ふみえ様



田中ふみえ様

皆様、こんにちは。本日はこのようなお席にお招き頂きまして、心より感謝申し上げます。語りべをやっております、田中ふみえでございます。教室は、西尾と吉良と名古屋にございまして、25名ほど生徒がおります。語りというのをさせて頂きたい、語り継いで頂きたいという思いで活動しております。今日、一緒に来て下さっているかつらさんは、碧南生まれで現在も碧南に住まわれておりますが、語りを習って下さっております。なぜ語りを、というところから話させて頂きます。

私にとって語りとは、生きていく事を言っても過言ではございません。母が愛を込めて寝物語を聞かせてくれた事が原点にあります。父が厳しい言葉でもって私に色々な事を諭してくれ、その時に言葉の力の大きさも併せて教えてくれました。言葉の力の大きさと母の愛が語りの原点ではありますが、もう一つございます。ちょうど12年前の10月に主人が先にお空に逝きまして、私は何の為に生きているのかという事に直面致しました。語りは縁あって22の時から始めてきました。その中で私は語りで何か出来るかもしれないと思い至りまして、自分で物語に思いを託して語る事を始めました。始めは民話などでしたが、物語に込められた先人達の思いがある、という事に思い至るようになりました。

私は縁あってカンボジアで語る機会がありました。その時に、花咲かじいさんを語らせて頂きました。カンボジアは、ポルポト政権という軍事政権が長きに渡って国を支配しておりました。おばあさんはいましたが、おじいさんはおりませんでした。博識で位の高い男性は殺されてしまったという過去がありました。カンボジアでは、悪いおじいさんがポルポト政権で、いいおじいさんがカンボジア国民ではないかと思いました。若い人ばかりでしたが、笑顔で溢れていて、悲しい過去が本当にあったのだろうかと思う程でした。そんな悲しい過去があつたにも関わらずこんなに笑顔に溢れているのは、シアヌーク殿下がいたからかなと思いました。ここで語って、日本昔話が何を語っているのかが分かりました。そして皆さんにも伝わったのではないかと信じております。

日本昔話というのは、先人達がこれに託した願い、思いというのはこんなに大きいのかと感じ入りました。恨むでないぞ、いつか必ず幸せになるぞという事だと思えます。国によっては、昔の事を持ち上げて言ってくる国もありますが、日本というのはそのような事は過去にもしてこなかったのではないかと思います。かつて色々な戦いが日本国内でもありましたが、その事に対するさく言うのではなく、それを許し、また仲良く手をつないでいこうというメッセージだと思います。昔から受け継がれてきたバトンを、私たちが次に繋げていく

事が大切だと思っております。

語りというのは言葉の世界で、物は一つもありません。あるのは、目に見えない心と言葉だけです。私は思いますが、目に見えないものこそが、目に見えるものを生み出すのだと思います。人の心が変われば、全て変わると思っております。皆様方のように社会を作って下さっている、またその中でも地域に貢献しようとして下さっているロータリークラブの皆様お一人お一人が、そういった心を未来で向けて頂きたいと思っております。古代の人でもですが、自分の生きている時代だけではなく、300年後、400年後を考えて色んな事をされてきたと思います。現在の忙しい時代に生きていると、ついつい5年先、10年先の事しか考えませんが、昔の人は自分が亡くなったあとに故郷がどうなっているか、などを考えていたので私達は現在の豊かな暮らしをしていけるのではないかと思います。

語りべをやっておりますと、過去を探ったりする事もございますが、物の考え方が少し変わってきて、自分が生きているだけの人生ではなく、その先、そのまた先のために何を語ったらいいのだろうと思います。でもそれは特別な事ではなく、ほんの数百年前に生きた人達はみな、当たり前のようにやっていた事だと思います。ほんの数十年の間に、私たちの価値観が大きく変わりましたが、私たちの先祖はそうのように行動していたのだと思います。ロータリーの方々にも、回りの方に、子供達に様々な事を語って頂きたいと思っております。

高齢者の方に多いのですが、歳をとったから私がする事は何もない、という方がいらっしゃいますが、昔は長老がいて、その人達が知恵袋となって下の人達を指導し、世の中がまわっていた時代もあったかと思っております。今からが定番だと私は思っております。

子供達はぐんぐん育っております。園長先生に聞きますと、今は話を聞けない子が多いと言います。物語に耳をそっと傾ける、そんな子供達になってくれたなら、先人達も喜ばれるのではないかと私は思っております。

本日は、私ながらに碧南についてお話を作ってきましたので、聞いて頂きたいと思っております。真実とは違う事もあるかもしれませんが、この話を書くにあたり、碧南とはこんな地なんだとお勉強させて頂きました。

11月3日に毘沙門さんでお祭りがございます。かつらさんと一緒に、子供達にもやって頂こうという事で、お話を語らせて頂きます。三州瓦のお話を予定しております。もしご都合のつく方はぜひお足をお運び頂けたらと思っております。

本日は貴重な機会を頂きましてありがとうございました。

次回例会案内

平成26年10月22日（水） 卓話「私の履歴書」

会員 杉浦秀延君、貝田隆彦君